

番組審議会議事録

日時 令和6年9月19日(木) 13:30～
場所 萩テレビ株式会社 会議室
出席者 審議委員6名 会社側3名
三浦正之、柳林浩一、國光博基、牧野泉、北川秋穂、小川真綾【委員】
梶野晴彦、久保田桂子、井上光貴【会社側】
欠席者 藤田賢治郎【委員】

議題

[1] 会社側の報告等

- ・近況報告

- ・今回の審議番組について説明

 - 審議番組：「たまち土曜夜市」（令和6年7月6日 18:00～20:00）

 - スタジオ：久保田 桂子

 - レポーター：梶野 晴彦・蔵本 江理

 - 番組内容：7月6日（日）田町商店街では、7月の毎週土曜日の18:00から『たまち土曜夜市』を開催しています。

 - 屋台はもちろん金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げなどが体験でき、昔ながらの緑日を思い出す夜市で、焼き鳥や生ビールなどの屋台も多数あり、中学・高校生や家族連れなどたくさんの市民が集まります。

 - この生中継特番では、臨場感のあるリポートで、『たまち土曜夜市』会場の様子を伝えていきます。

 - 来場者・イベント参加者へのインタビューも実施。イベントの詳細をタイムリーに発信していきます。

 - 中継とスタジオとの2元中継を実施することでより詳しい情報をリアルタイムに発信。

 - 地元に着したイベントに参加し、地域の方と一緒に生放送特番を創っていくことで、祭り会場を盛り上げていきます。

 - 1 スタジオと現場から特番紹介

 - 2 商店街振興組合連合会、山下会長インタビュー

 - 3 射的・輪投げコーナー等現場の様

 - 4 いっぷく堂より

 - 6 ブックカフェ「Tabito」店主 インタビュー

7 ダンスパフォーマンス

8 現場から最後の挨拶

9 番組終了

[2] 番組内容の審議

次のような意見があった。

- ・ インタビュー時の電話の音声聞き取りにくいところがあり、機材等の改善をしてほしい。
- ・ ラジオ番組というのは聞いている人にとって大切な情報提供の場であり、耳から癒しを与えてくれる場でもあるんじゃないかなという風を感じた。
- ・ ラジオだから聞いている人にとっては耳から入ってくる情報が全て。耳から入ってくる言葉でイマジネーションを働かせていくわけで、番組の中のレポーターのコメントがとても大切になってくると思った。例えば、暑くて汗が出て「ナイアガラの滝」状態ですというのも本当に暑いのだろうなと思わせた。
- ・ 聞いている人が昔を懐かしく思い出すような話題の取り上げ方も個人的には良いと思った。
- ・ 駄菓子屋の一風堂のところではモロッコヨーグルトの話が出ていて微笑ましかった。子供たちが一袋で1週間分のおやつを自分で考えて購入するという話も面白かった。
- ・ 生放送ならではの現場の状況や活気が伝わってきた。自転車置き場の位置や自転車の量などの情報もあり非常に分かりやすく聞いていて楽しい放送だった。
- ・ 特番の事前告知を自主放送番組の中でもっと実施しているとさらに良かった。
- ・ 耳からの情報でイマジネーションが膨らむ。
- ・ インタビューでたまち土曜夜市の歴史や開催への思いなどが聞けたのが良かった。
- ・ 久保田桂子さんの明るい声やトークなどもあり、とても楽しく特番を聞いた。
- ・ たまち土曜夜市のキャッチコピーが特番内で何度も出てくるのが良かった。
- ・ インタビューを聞いていて中継の時間が長く感じる場面があった。
- ・ 事前収録と生放送との音量のバランスを改善してほしい。
- ・ これからイベントに向かう人にとって、とても良い情報になる番組だった。
- ・ 一ヶ月間のイベントなので更にフォローがあると良い。
- ・ 来客者へのインタビューがもっとあると更に良かった。
- ・ 番組の冒頭、人の集まりの状況や笑顔が多く見られるなどの発信があり、リスナーを引き付けるスタートだった。
- ・ 振興組合理事長から70年位の歴史ある催しで、子供たちが喜ぶ夕涼みの場との紹

介があり、思わず小学生の頃に祖父に連れて来てもらった時代にタイムスリップした。

- スタジオのパーソナリティとリポーターの掛け合いと連携がとてもよかった。中継の音声ハウリング等で聞き難かった際に、スタジオから繰り返しフォローがあって、ストレスなく聴くことができた。
- 普段行く機会がない『いっぷく堂』の駄菓子紹介や、新しく開店したブックカフェ『旅人』の店主のお話は、この中継ならではの楽しい話題だと感じた。
- 昔からの射的や輪投げの紹介は、次の土曜日に行ってみたくなる話題であった。
- 来場者へのインタビューで、子供たちがかき氷や焼鳥が大好きと話していた。コロナが収まってきて、飲食が屋台でできる有難さを感じる事ができた。
- 番組の最後に、集まった人たちの笑顔がとてもよかったとの話で締めくくられていて、自分もその場にいるような楽しい気分になった。

<会社側からの回答>

- これからも市民が聞いて役立つ情報発信及び新しい番組の企画に努めていきたい。

[3] 次回開催について

今回は、令和6年11月11日(月)13:30～に開催することが決まった。審議番組は、水曜日を担当しているパーソナリティの岩本祥子のアフタヌーン775に決定した。